

令和2年2月4日

## 役員会議事録

概要：本役員会では、昨年12月20から24日に行われた短期集中講座の結果について報告し、また、次回研究会、及び、来たる20周年記念業関係の事業について話し合いが行われた。

### 審議事項：

- ・短期集中講座について
- ・四葉研究交流会2020について

### 短期集中講座について：

12月20から24日にかけて短期集中講座『先輩は語る』が開催された。参加者は18名。講座は本会役員、近藤、山井、弓林がスライドを用いた発表を行った。初日は近藤が『私は科技高を卒業して技術者になりました』をタイトルに、在校時代から、大学、サークル活動、大学院、そして現在の仕事への技術者としての軌跡について語った。2日目は山井が『教育・訓練』をタイトルに、仕事上での教育、訓練を主として、物の考え方、人の育て方について語った。3日目は弓林が『先輩は語る』をタイトルに、山井同様、在校時代から、大学、そしてその後の研究活動などについて語った。

簡単なアンケートの結果、「タイトルを変えるべき」、や、「このまま引き続き続けるべき」といった意見があった。

### 四葉研究交流会2020について：

「四葉研究交流会2019」に引き続き、第3回研究会「四葉研究交流会2020」の計画について議論が行われた。

今回は、本校生徒会執行部側からの申し出で、本会、生徒会執行部共同開催となることが決定した。共同開催の趣旨は、生徒会執行部が生徒主体となる研究会開催を計画しており、本会主催の研究会を共催し、その土台作りを行うことである。本会としても、生徒会執行部の協力が得られることは、在校生への募集が円滑となり、また、司会や受付など、様々な場面で役割を分担することが出来、何より本会の知見が在校生へ役立つことは願ってもない提案であり、承諾した。また、開催は、学校側との話し合いを踏まえ、3月21日に決定した。今後は、生徒会執行部と協力し、講演者募集など、開催準備を行なっていく予定である。